



シャープ社友会広島支部
会報 ひびき 第12号

発行人 山田 順

1面	春夏秋冬 明日に向かって
2面	秋の旅行ガイド
3面	辻村 務さん 逝く
4面	HOW DO YOU DO
6面	私の工程管理事始物語
7面	我が青春物語
8面	社友短信

明日に向かって

社友会広島支部長 山田 順

春 夏
秋 冬

社友会広島支部も発足以来、早くも六年を過ぎました。

会員も年々増加し、昨年十月には九州分会が結成され、近く三桁の大台に近づき越える勢いです。

新会員の増加により、今後支部の基礎が益々強固になり、大きな活力が発揮されることを期待しています。

また、広島独自の組織である紅葉会も着実に会員が増加し、活動も活発化してきたのは大変喜ばしいことです。

最近ある老人会で、『上手に老いる十ヶ条』を入手しました。その幾つかを紹介しま

すと先ず、

一 **人と触れ合い 社会に関心を持つ**
現職中は地域社会とは、殆ど絶無に近い関連状態でしたが、今はその姿勢を変えて近隣の人々と極力、交流に心掛けています

二 前向きの姿勢と好奇心を持つ

四 **毎日 無理のない運動をする**
定年後しばらくは、友人とのゴルフ・ボ

が、この触れ合いが如何に大切かを痛感しています。

そしてこれが、社会に関心を持つことにもなるものと思います。

二十一世紀へ向けて世の中は、急速に変化していきます。

善悪混然としていますが、引込思案にならず、後ずさりせず、何事にも意欲を持って取組みたいものです。

人はみな、多種多様の趣味を持っていますが、途中で投げ出すことなく心を打ち込み大切に育てあげたいものです。それが心を洗い、交流の輪も広がって行くことになりま

す。

主要記事

春夏秋冬 明日に向かって

秋の旅行ガイド

辻村 務さん 逝く

HOW DO YOU DO

私の工程管理事始物語

我が青春物語

社友短信

五 睡眠を十分にとりストレスをためない

年をとると睡眠時間は、短くなります。

要は、熟睡することです。人はそれぞれの環境から、大なり小なりストレスをもっています。

例えば、来年からスタートする介護保険制度についても、我々老人にとつては一抹の不安を感じます。

大きな時代の流れに呑み込まれていく、これもストレスの一つではないでしょうか。

六 積極的に頭を使ってボケを防止する

当支部でも、七月よりパソコン同好会が発足しました。入会希望者が多く、毎月熱心に開かれています。

人間は、考える動物です。私も今、俳句に取組みその奥の深さに苦労しています

しかし、日本の四季さまざまを、あらためて見直すのも楽しいものです。

社友会室で皆と話し合う、春秋の親睦旅行や、新年会その他の行事への参加も親交を深め、若さを取り戻す原動力です。

お互いに何かを手掛けて、ボケ防止に努力しましょう。

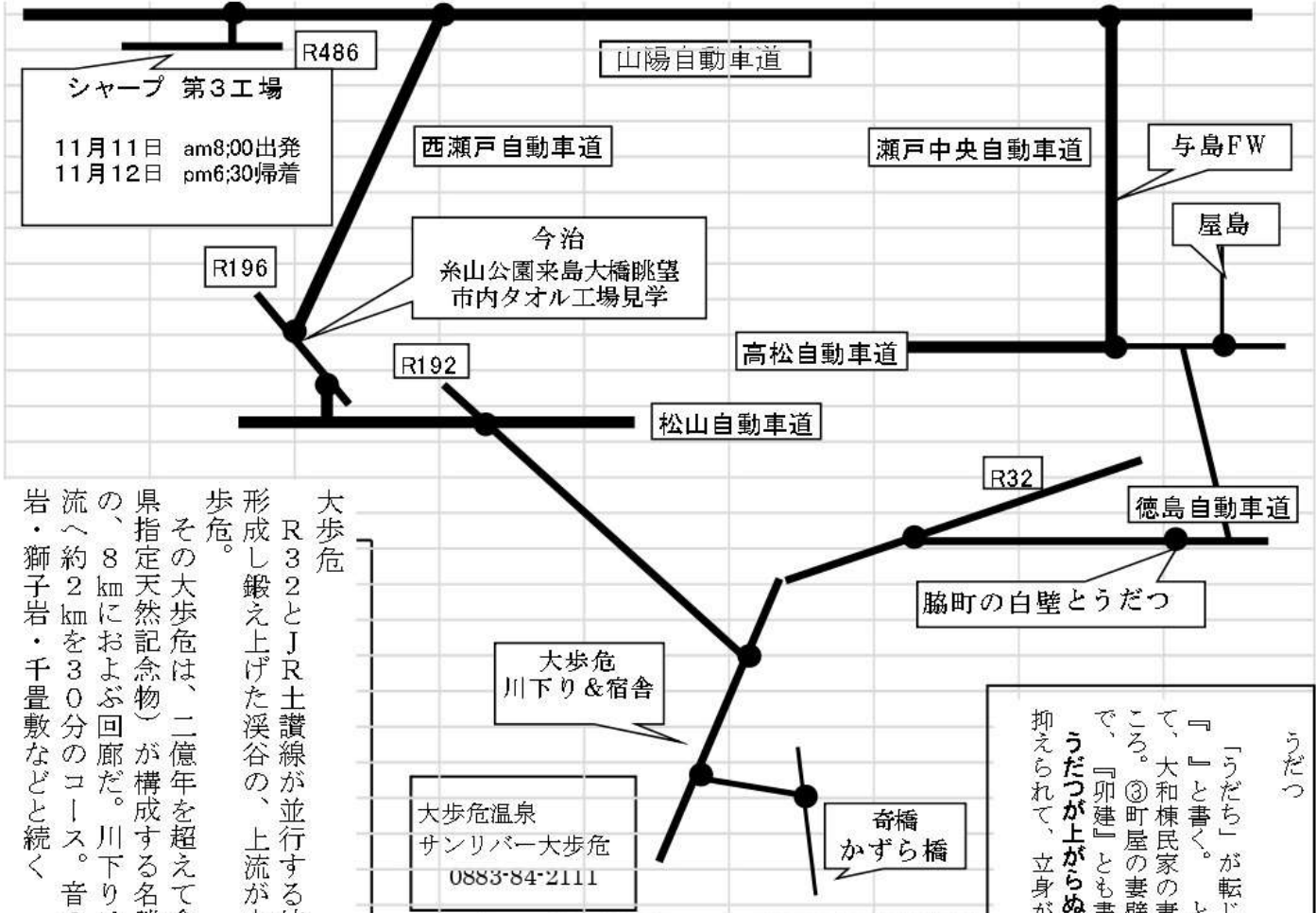
いろいろ書きましたが結局、私たちはみだりに、過去を振り返ることなく明日に向かって、希望を持って力強く歩むことです。

秋の親善一泊旅行 概要

しまなみ海道&祖谷のかずら橋

紅葉の大歩危川下り

岩風呂旅情の大歩危温泉



大歩危
R32とJR土讃線が並行する峡谷。吉野川が形成し鍛え上げた渓谷の、上流が大歩危。下流が小歩危。
その大歩危は、二億年を超えて含礫片岩（徳島県指定天然記念物）が構成する名勝奇岩と清流の、8kmにおよぶ回廊だ。川下りは、上流から下流へ約2kmを30分のコース。音の瀬・コウモリ岩・獅子岩・千畳敷などと続く

うだつ
「うだち」が転じて、「うだつ」となった。「うだつ」と書く。とは、①梁上の束柱。②転じて、大和棟民家の妻壁を屋根より一段高くしたところ。③町屋の妻壁の横に張り出した袖壁のこと。『卯建』とも書く。
うだつが上がらぬ。とは、本来は、のように頭を抑えられて、立身ができない状態を表現した。



大歩危温泉
サンリバー大歩危
0883-84-2111



かずら橋
秘境祖谷のシンボル。昔は祖谷の山中に、13もあつたそう。大正末期までは、村の重要な生活道だつたそう。現在は国指定重要有形民族文化財になっている。
ほぼ3年ごとに、山中に自生するシラクチカズラで架け替える。長さ45m・幅2m・水面から14m、足元から川面が透けて見え、渡る人の振動で激しく揺れる。
このスリルに耐えられるか。

辻村 務さん逝く

謹んでご冥福をお祈りします



今年度の社友会総会での
辻村 務 さん



ひがしひろしま聖苑 10月4日

3日の朝、亡くなったとの、知らせを聞いた。あまりにも早過ぎるではないか、そう思った。社友会だけでみれば、釣り同好会リーダーの印象が強い。しかし、別の側面では音楽器による、ジャズの演奏に親しみ、パソコンをライフワークとする幅広い趣味も併せ持つ、人でもあった。
今年の社友会支部総会での雑談で、パソコン同好会をつく

遠隔地会員は今

ウォーキング & 短歌作り



おかもと しんいち
岡本 真一さん

(461)

るけど参加しませんかと聞いたら、わしは音楽とパソコンの融合を考えとる、と言ったのに。
昭和43年に広島にきてから、SMT赴任期間を除いて広島に住み地元でいう、旅の人ではなく本当の、八本松の人になったんだ。

(裕)

退職して七年が経過しました。岡山市に隣接する山陽町の新興住宅地に住んでいます。ゆきつけの散髪屋の主人は挨拶がわりに「暇でしょう」と言うけれど、充実した生活を送っています。

今特に精力的に取組んでいるのは、最近はやりの『ウォーキング』と『短歌作り』です。

1 ウォーキング

放っておくと家の中で、読書ばかりするの
で、つとめて外に出て歩くように心掛けていま
す。四国八十八ヶ寺も歩きました。京都から紀
伊半島を廻り、熊野神宮・伊勢神宮・熱田神宮
へと歩きました。最近では「しまなみ海道」も
歩きました。毎日、夕方の一時間半ほど町内を
歩き、体力を維持しています。

2 短歌作り

生まれつき理数系の左脳タイプの人間です。
これまであまり使っていなかった、右脳を刺激
して感性を磨こうと、一念発起し短歌作りに取
組んでいます。

「龍」という短歌会に入り、毎月二十首づつ投
稿しています。
最近詠んだ歌を、紹介します。

旅ゆけば 美味^{うま}き酒あり 職退きて

旅で飲む酒の 酔ひの早さよ

空を見て 島を見海を見 橋を見て

「しまなみ海道」 徒渡りゆく

ゴルフ

10月の例会は山陰2ラウンド ツアー

7～9月の優勝はアンダーパー



7月～9月のコンペ個人成績は、別表の通りでした。
 中期三ヶ月は、雨やら台風やらその合間でのプレイになりました。7月には、東京から稲森さん、大阪からは垣山さんの参加もあり当同好会も、好評の内に社友会全体に人気上昇中です。また、9月から新会員の河上さんに加入いただきました。

9月度月例コンペでの「表彰式&ミーティング」
 安芸カントリークラブにて

ゴルフ同好会 月例成績表

	7月 第22回		8月 第23回		9月 第24回	
	順位	NET	順位	NET	順位	NET
嵐	⑨	76	④	74	/	
片桐	⑬	81	⑩	81	⑪	84
山内	②	70	⑧	77	①	69
佐々木	⑩	88	⑬	84	⑭	88
片山	/		③	71	⑤	76
出口	⑮	85	⑥	75	⑥	77
車角	⑥	75	⑦	75	⑨	81
杉山	④	74	/		/	
徳永(文)	⑰	84	②	70	⑫	85
山口	⑫	80	⑧	80	/	
相馬	⑪	78	⑪	82	⑩	81
井上	/		⑫	84	/	
松浦	③	72	/		④	76
小林	⑭	82	①	70	⑧	81
大和	⑧	76	⑮	86	②	70
河上	/		/		⑬	85
徳永(幸)	①	68	⑭	86	⑦	79
山本	⑤	75	⑤	74	③	74
山本(W)	⑩	85	/		/	
ニアピン	垣山	大和	徳永(文)	山本	大和	徳永(文)

第24回月例コンペ優勝
 山内孝雄さんのスコア
 安芸カントリークラブ

Hole	Par	SCORE
1	4	5
2	4	6
3	3	3
4	4	4
5	4	4
6	5	6
7	3	4
8	4	3
9	5	5
Out	36	40
10	5	5
11	4	4
12	4	4
13	4	5
14	3	3
15	5	5
16	3	3
17	4	6
18	4	4
In	36	39
TOTAL	72	79
HANDICAP		10
NET SCORE		69

10月 秋のゴルフツアー参加者受付中

紅葉の大山を背にして、思いっきりのスイングをしてみませんか

2日間2プレイ・温泉宿泊・概算40000+α

10月26日(火) 米子ゴルフクラブ

27日(水) 朝日ゴルフクラブ

宿泊 日吉津温泉 うなばら荘 0859-27-2018

問い合わせ・参加連絡は10月10日まで

担当 出口幹事

ボーリング

第九回大会観戦記

さる九月二十六日、西条町の「賀茂ボール」で第九回ボーリング大会が開催されました。参加者九人で、優勝候補は、前回優勝の細井さん、第三回・第五回優勝の車角さん、そしてダークホースの相馬さん（名前にもウマがついている）、が戦前の予想でした。いざ蓋を開けてみると、第一ゲーム終了時点でトップが相馬さん、二位は実力がありながら世話役で神経を費やし、過去下位に甘んじていたリーダーの吉岡さん。三位は、今年五月に入会した西尾さん。トップとの得点差はそれぞれ十二点と十六点でした。一方、優勝候補の車角さんは、得意のスペア取りが思うにまかせず六位、細井さんは、マイナスハンデイがプレッシャーになったのか八位と奮わず。



第九回大会に参加の皆さん

同好会は楽しく趣味を活かします

How do, You do

なにかいいこと
してますか

そして、第二ゲームは、白熱した優勝争いになり第10フレーム2投目で難しいスペアをゲットした吉岡さんが、六ピン差で逆転の優勝。準優勝は相馬さん（三二六点）、三位は西尾さん（三〇八点）でした。なお、次回の第一〇回記念大会は、来年一月に予定されています。

優勝した吉岡さんのスコア

フレーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	HC. TOTAL
1	5	6-	9	8 1	9	×	7-	×	7	7	8
	16	22	40	49	69	86	93	113	130	148	163
2	×	3	7	9-	9	7	7	2	×	6 3 3	8
	20	37	56	65	82	99	108	127	136	154	169

囲碁

和気藹々の対局

吉岡さん（手前左）小幡さん（手前右）と木船さん（向こう左）浅島さん（同右）



紅葉会 丸下さん

少し厳しい坂道で杖を突き、息をとぎらせ、汗を流した後のお弁当は、なんとも美味しく、いただきます。そよ風の運んでくれる、山の空気もまた美味しく、感じました。

ウォーキング

九月十八日。第3土曜日は少し足を伸ばして、近郊でのウォーキング例会日。この日は、福山から神辺へ。乗り換えて井原線の新車で御領駅下車。234mの頂上まで、約30分の登りで右に左に巨岩怪石を見ながら、八丈岩を経由してどうにか登りきりました。

巨岩怪石の御領山を歩く



神辺御領山ウォーク 八丈岩登山道入口

私の工程管理 事始物語

新田 保さん
(453)

私が入社した昭和二十三年当時は、真空管式高周波一段ラジオ生産の最盛期でした。

そして昭和二十六年には、スーパーラジオの生産が始まり、昭和三十七年頃真空管式テープレコーダーの生産が始まったように思います。

メカニズムの付随する商品の生産は、もちろん初めてで、昭和四十年代前半までにトランジスタ化が急激に進行し、初めてづくしの連続でした。



そんな時期、品質管理部から生産部に異動し、米国向けテープレコーダー生産の全盛期の中で、ウオード社向け「オーブンリール・オートリバーズ型ポータブル」を、担当することになりました。

当時は、メカニズム組み立てから、完成品に至る一貫生産で、工数は多く、必然的に作業員も多く必要でした。

その中で、担当のラインでは歩留まりが良くない、直行率も30%を割っている、など

生産の効率と品質レベルの低さが、早急に解決すべき問題でした。

第一段階は、定石どおり工程の責任者に集まってもらい、問題点を抽出することから始めま



昭和35年頃のレクリエーションで 後列左端が 新田さん

した。いつの時代も同じだと思えますが緊急措置である、対症療法の選択と実施は生産部門の課題になります。

生産ライン上での、選別・修正、再加工などの要因排除は、新たな検査基準の設定や基準変更を意味し、相当するゲージや治具の製作を必要とします。こうした、一連の作業は現在では、常識的対応として定着していますが、当時は何か対策を講じる度に、新たな対策を必要とする、管理レベルでいえば次の展開が見えていない幼年期にありました。

一方、品質の維持と生産量の確保ができない状況は、部門を越えた関心のようになりましたから、問題を解決するための施策が、関係部門から数多く寄せられました。しかし、その中には作業者に直接、作業方法や管理基準の変更を、指示するものまで含まれていました。結果からいえば、作業指導票が口頭で修正され、公式に修正認知されないまま、一人歩きをする土壌もあって、作業指導票の権威さえ確立していません。

よく、基本にかえるといいますが、その基本が曖昧に思えるとき、とり得る手段はゼロスタートになります。

品質の確保を前提に、生産計画を縮小して新たな体制構築に取り組んだ、この時の苦闘がその後の生産部門在籍三〇年に及ぶ原点であり、『管理』への挑戦の第一歩であったと思いません。

我が青春物語

青春の多趣味

十五、十六、十七と私の人生暗かった。藤圭子の歌ではないが、この年頃の時代は、終戦直後で物資の不足と世相の混乱期でありました。

ところが、なぜか十九から二十歳になったころから、他の同世代のすること、なすことに何でも一度は経験してみたい多趣味な青春に変化していきました。

ある日、会社からのレクレイションで、宝塚歌劇にいきました。初めて観る豪華絢爛の舞台と美女たちの歌や踊りに魅せられ、今様に言えば『はまった』のでした。

はまる、といえど他にもありますが、年末になるとそれぞれの工場であるいは、会場をミナミやキタに求めて、労働組合行事のダンスパーティーが開かれました。もちろん講習会もありましたが、クリスマス時期を外れてもダンスホールに、足繁く通ったものでした。その頃、京都西陣で兄が商売をやっており、営業用の車があり、オートバイも使っていました。

休日は、京都市内や嵐山・清滝などオートバイでのツーリングに熱中するようになって、考え方が少しずつ変わってきたように思います。省みれば、映画鑑賞・観劇・ハイキング・

松岡 良明さん

(235)

社交ダンス・8ミリムービー・鉄道模型・ラジオ組立など、好みと思いつきに任せてあれもこれもと、好奇心の趣くままに、楽しんだことになんとか、物足りなさを、感じるようになったのです。



名神高速道路が西宮・栗東間で開通したころ。記憶では瀬田のあたり、とおもう。キャロルを背に。

ひやひや、しながらのツーリングをスリルと感ずる方は別ですが、私の場合は早く、免許を取得したい願望に、向かいました。昭和三十四年に、当時の小型四輪免許を取得。

しかし、誰もが傾向として持つ、自分の車が欲しいという、欲求はありましたが男はまず、生活の基盤を築くのが先決、との判断から免許をもちながら、自動車を購入したのはずっと後のことです。

初代の愛車は、「キャロル」。ずいぶん遠くまで走ったものです。近畿一円はくまなく、走破しましたが、もちろん結婚してからのことです。

先年、宝塚歌劇の広島公演を観る機会がありました。広島にも熱狂的なファンがいるんだ、と認識を新たにしましたが、目的のステージは記憶とは大違いでした。それは、あれほど熱中した8ミリムービーが、今やビデオに取って代わられ、フィルムさえ入手難な時代に至ったのと、原因も結果も異なる次元の話だと思っております。

こうしてみると、私の青春は『早川電機工業株式会社』に入社して始まり、いまなお終わつたわけがなく、趣味に対する見方が少々現実的になっただけ、とおもうのですが。



上の写真と同じ場所。新幹線0系「ひかり」

社友短信

◆ 水澤 勇さん

呉市広町から志和に引越して、新しい生活環境にも、慣れてきたそうです。現在、日曜日を除く毎日、午後の時間に仕事に出ているそうで、「医者いらず」の健康そのもの、と笑っていました。

☆☆☆☆☆

◆ 小寺 清さん

二人目のお孫さんが、生まれて後ずっと入院しており、奥さんと共に自宅とお孫さんのところと、往復の毎日だそうです。せめて、月に一度くらいは社友会事務所を覗きたい、とのことでした。

◆ 若林 繁次さん

大阪在住のお母さんが、九〇歳の高齢で一人でお暮らしとか。お母さんの持病もあり、そのため大阪との往来が頻繁になっているそうです。

☆☆☆☆☆

◆ 森本 康夫さん

第9回ボーリング大会に参加のため、久しぶりに姿を現した森本さん。生涯現役を標榜して、社友会加入とともに、再就職。現役時代と変わらぬ多忙さに、うなずいていました。

☆☆☆☆☆

頼られる庭造り助っ人

八本松南 木船久さん(67)

転勤で3年ほど空き家になっている。昔は依頼しようかと思案していた間に、かなり荒れしまった藤田美こさん(八本松南)の家の庭。美こさんが頼りに、庭造りをするため、業種で直そうぞや」と助け舟を出してくれたのが、隣に住む木船久さんと2軒隣の高畑和男さんでした。庭仕事得意な木船さんは、主に庭木の移動やせん定、土起こしなどを担当。以前からすつと気になっていたので、心強い限り」と藤田さん。藤田さんは、近いうちにリニューアルのこの庭で木船さんたちの力をねぎらう焼き肉パーティーを開く予定です。(木山秀子)

リビングひがしひろしま9月11日号で、ご近所でのお付き合いを紹介された 木船 久さん

編集後記

■ 十月三日朝、突然の訃報。辻村さんが亡くなった、という。今号の編集作業も終了段階だったが、一部誌面を変更して追悼内容を挿入した。ご冥福を祈る。
■ 従来の、B4版からA4版に変更し8頁の発行体制とした。
■ 「我が青春物語」と「××事始物語」の

の2件を、シリーズで会員諸兄の体験を掲載します。投稿をお待ちしています。
■ 次号は十二月下旬に、新年号として発行の予定です。ふさわしい投稿をお待ちしています。なお、原稿はお返しできません。コピーをとって、送付ください。

□□□□□□□□

新会員紹介



河上 國男 さん
会員番号 1484
加入 9月 1日



山口 寿栄信 さん
会員番号 1493
加入 9月20日